

会議名	第1回新城地域協議会		公開
日時	令和2年6月18日(木) 午後7時00分～午後7時45分	場所	市役所本庁舎4階 4-1、4-2会議室
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、伊藤めぐみ、坂巻克彦、清水利高、加藤賢一、 加藤尚代、太田芳伸、高木猛至、酒向雅子、本田廣美、藤村信芳、 今泉訓行、後藤幸子、鈴木雅晴、浅岡勝、石黒謙治、夏目工、 前沢良隆、今泉栄、布施エミ子、大橋さよ子		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長、宮本主査 新城自治振興事務所：笹田所長、川合主任		
欠席者	浅田昌弘	傍聴者	なし
配布資料	次第、新城地域協議会委員名簿、新城地域協議会分科会設置規程、 新城地域自治区地域協議会に関する運営要綱、令和2年度新城地 域協議会日程表(案)、地域活動交付金募集チラシ、新城地域自治 区地域活動交付金審査基準(案)、地域活動交付金事業採点票記載 例、令和2年度新城地域協議会分科会名簿(案)		

### 議題・議事・発言等(要点記録)

<p><b>1 開会</b> 新城地域協議会今泉会長の自己紹介と挨拶の後、自治振興事務所長、自治振興課長、新城自治振興事務所担当職員の自己紹介及び挨拶を行った。その後、地域協議会委員全員の自己紹介が行われた。</p> <p><b>2 議事</b> 会長より会議成立の報告を行われた後、会議録署名委員について各行政区ごと、東新町区から順番に署名していくこととなった。今回の署名委員は、会長及び東新町区の岡山委員と伊藤委員となった。</p> <p>(1) 会長及び副会長の選任について (2) 分科会の設置について (1)と(2)が関連する議事であるため、一括して協議が行われた。 協議の結果、昨年度までと同様に、「地域活動交付金分科会」と「地域自治区予算分科会」「地域計画分科会」3つの分科会を設置することが決定された。 また、分科会委員長は副会長を兼任することが決定された。「地域活動交付金分科会」委員長は加藤賢一副会長が任期中であるため、引き続き務めていただくことを確認した。その後、地域自治区予算分科会委員長に太田芳伸委員を推薦する意見と、地域計画分科会委員長に浅岡勝委員を推薦する意見があり、それぞれ就任することとして決定された。また、委員全員がどの分科会に入るかが決定され、今年度の新城地域協議会の運営体制が整った。ただし、地域計画分科会の委員は昨年度と同様の委員をメンバーとしつつ、年度途中であっても分科会への出入り自由とすることができる限り多くの委員に関わっていただくこととなった。</p>
---

地域活動交付金分科会	自治区予算分科会	地域計画分科会
委員長 加藤 賢一	委員長 太田 芳伸	委員長 浅岡 勝
伊藤 めぐみ	岡山 博	伊藤 めぐみ
坂巻 克彦	浅田 昌弘	加藤 賢一
加藤 尚代	清水 利高	酒向 雅子
高木 猛至	酒向 雅子	後藤 幸子
藤村 信芳	本田 廣美	随時募集
鈴木 雅晴	今泉 訓行	
石黒 謙治	後藤 幸子	
前沢 良隆	浅岡 勝	
布施 エミ子	夏目 工	
大橋 さよ子	今泉 栄	

### (3) 地域活動交付金の二次募集について

新型コロナウイルス感染拡大防止、また緊急事態宣言中であったため、当初予定していた4月1日から5月11日の募集期間に申請の相談に来た12団体に対し、申請を見合わせるよう事務局から依頼をした。結果、期間中の申請はなかったが、その後緊急事態宣言が解除され、対策を講じた上で地域活動を段階的に実施していく方針となったため、改めて今年度の地域活動交付金の募集を行うかどうかを地域協議会で協議した。

協議の結果、令和2年7月1日から7月22日の期間で地域活動交付金事業の募集を行うことが決定された。

#### <主な意見>

(委員) 報道されているとおり新型コロナウイルスの第2波、第3波という可能性もあると思うが、例年どおり交付金事業の募集を今年度も継続するべきだと思う。

(委員) 4月1日から5月11日の一次募集の際、申請相談に12の団体が相談に行き、申請は0件であったということだが、ある団体から募集期間中に申請用紙をもらいに行ったが申請させてもらえない状態であったように聞いた。本当に0件であったのか。

(事務局) 一次募集の開始は4月1日に開始された。緊急事態宣言直前の時期で状況は悪くなっていく一方であったため、市の判断として申請を検討する団体には、申請を見合わせるようお願いをさせていただいた。それでも申請したいということであれば、申請を受け付けることとはなるが、どうしても申請したいという団体はなかった。事務局としても申請見合わせを強くお願いしているので、申請させてもらえなかったと思われても仕方ないと思っている。

(委員) 二次募集を行わなかった場合、地域活動交付金の予算はどうなるのか。

(事務局) 地域活動交付金の予算は、みんなのまちづくり基金という市が積み立ててきたお金を財源としている。二次募集を行わなかった場合は、そのお金は使われずに翌年度以降に使っていくということになる。既に他の地域では前年度審査を経て交付金事業の実施を検討している団体もあるが、現状を踏まえて

実施を迷っているということも聞いている。色々な問題があり、かなり難しい問題だとは思っているがみなさんには、どうするかご判断いただきたい。

(委員) 現状では募集をかけたとしても申請が出るかどうかは分からないと思う。団体には市の催し物の開催目安を十分に理解していただいた上で、やりたいと思っている団体もいると思うので、例えば屋外で実施できることもあると思う。栄町では交付金事業で花いっぱい運動が行っている。鉢花の育成と展示になるので、新型コロナの影響を受けない事業だと思っている。そういった事業については、逆にこういった現状を明るくする効果、花により心を豊かにするということが考えられるのではないか。同じような事業を考えている団体もいるかもしれないので、募集は行った方がいいと思う。申請があるかどうかは分からないが、募集はするべきだと思う。

(委員) ここでやめてしまったらこれまで続けてきた活動がダメになってしまうと思う。個別の事業についてやるやらないということはこれから詰めていけばいいと思う。今回やりたいということで申し出があった団体については、自粛ということをお願いしたということなので、募集は改めて行うべきだと思う。あまり難しいことは考えずに、もう一度一から募集をかけて、申請してもらえばいいと思う。3密とか色々な規制がある中で、チャンスという言い方はおかしいかもしれないが、この先もこのような状況が続くので、その第一歩として、このような状況下で何ができるかというのが今回重要な事だと思う。通常どおりのような形で募集をかけて、各所で集まらないでできるやり方などを工夫して申請してもらえばいいと思う。それで実際にやれるものがあれば、今回のコロナの関係での大きな成果になると思う。あまり難しいことを考えず、やっていくという形でどうでしょうか。

#### (4) 年間スケジュールについて

今年度の新城地域協議会スケジュールについて、基本的な年間スケジュールが決定された。会議の開催は原則木曜日の午後7時00分からとなった。

### 3 その他

新型コロナウイルスの影響で、地域で困っていることや不安なことなどを市の対策に活かしたいという趣旨で、市から地域協議会委員全員にアンケートを依頼した。